

令和7年度 都城市こども計画 点検・評価について

1 報告の概要

本市では、こども基本法第10条第2項に定める市町村こども計画として、国のこども大綱に基づき、こども施策を総合的に推進する「都城市こども計画」を策定しました。

本報告書は、本計画に掲載した施策・事業について、成果指標等に基づき毎年度点検・評価を実施し、取組の透明性を確保するため、年度ごとに進捗状況及び評価結果を取りまとめて報告するものです。

2 都城市こども計画

1. 趣旨

すべてのこども・若者が安心して幸せに暮らせる「こどもまんなか社会」の実現を目指し、3つの既存計画（都城市子ども・子育て支援事業計画、みやこのじょう子どもの未来応援計画、みやこのじょう健やか親子21計画）を一体化し、これらの計画に若者の視点を加えて、こども施策を包括的かつ総合的に推進するための計画です。

2. 計画期間

令和7年度から令和11年度の5年間

- ・令和7年11月 こどものあそびば整備事業の追加等のため、一部改定
- ・令和8年4月 人口推計見直しに基づく数値目標等の変更のため、一部改定

3. 計画の理念及び目標と施策体系

■基本理念

こどもの思いを受け止め
人間力あふれるひとを育てるまち
こどもまんなか みやこのじょう

■基本目標

- ・こども・若者の健やかな成長
- ・困難な環境にあるこども・若者への支援
- ・地域におけるこども・若者、子育て家庭への支援
- ・ライフステージに応じた切れ目ない支援
（こどもの誕生前から幼児期、学童期・思春期、青年期、子育て期までの支援）

■施策の体系

基本目標		施策の方向性
ライフステージ共通施策	1 こども・若者の健やかな成長	1 こどもの権利の保障と意見聴取の取組 2 こども・若者の居場所づくり 3 総合的な相談体制の充実
	2 困難な環境にあるこども・若者への支援	1 こども・若者の貧困問題への取組 2 障がいのあるこども・若者やその家庭への支援 3 いじめ、不登校、ひきこもり、ヤングケアラーに関するこども・若者への支援 4 児童虐待防止対策の推進
	3 地域におけるこども・若者、子育て家庭への支援	1 こども・若者の安全確保とトラブルの防止 2 「地域共生社会の実現」に向けた取組
ライフステージごとの施策	4 こどもの誕生前から幼児期の支援	1 妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目のない保健・医療の確保 2 妊娠・出産・子育て環境の整備 3 保育環境の充実
	5 学童期・思春期の支援	1 学校教育の充実と環境整備 2 不登校のこどもへの支援 3 思春期の心身の健康と保健対策の充実
	6 青年期の支援	1 高等教育の修学支援と充実 2 若者の経済的自立と就労支援 3 結婚、妊娠、出産等を希望する若者への支援 4 悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談支援
	7 子育て期の支援	1 相談体制・情報提供の充実 2 子育てや教育に関する経済的負担の軽減 3 共働き・共育ての推進と男性の家事・子育てへの主体的な参画促進

4. 量の見込みと確保方策

子ども・子育て支援法に基づく、以下の項目などを記載

・幼児期の教育・保育の量の見込み及び確保方策

※認定こども園等で提供している教育・保育サービスの供給量等

・地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策

※こども・子育て支援法第 59 条に基づく地域子ども・子育て支援事業の供給量等

5. 計画の推進

計画の進捗状況の点検・評価のための数値指標を設定

・こども・若者の視点に立った数値目標を 5 項目 設定（幸福度など）

・基本目標に向けた施策・取組の数値目標を 4 5 項目 設定

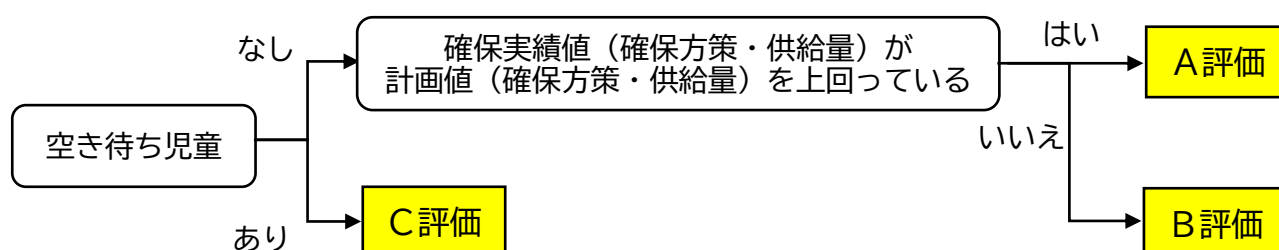
3 全体総括

1. 対象指標及び評価基準

(1) 幼児期の教育・保育の量の見込み及び確保方策の指標

➡将来必要とされる教育や保育の利用定員数を算出したもの

評価基準	需要量（利用実績）に対して、十分供給量（利用定員）を確保できた	A評価
	需要量（利用実績）に対して、概ね供給量（利用定員）を確保できた	B評価
	需要量（利用実績）に対して、供給量（利用定員）を確保できなかった	C評価



(2) 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策の指標

➡地域ニーズに応じた子育て支援サービスの需要予測と実施計画

評価基準	確保方策（目標値）は達成（○）かつ需要量（実際のニーズ量）も達成（○）	A評価
	確保方策（目標値）は未達成（×）だが、需要量（実際のニーズ量）は達成（○）	B評価
	確保方策（目標値）は達成（○）だが、需要量（実際のニーズ量）は未達成（×）	C評価
	確保方策（目標値）は未達成（×）かつ需要量（実際のニーズ量）も未達成（×）	D評価

(3) こども・若者の視点に立った数値目標

➡「こども大綱」が目指す「こどもまんなか社会」の実現に向けた指標を基に設定

評価基準	到達率	100%以上	90%以上 100%未満	75%以上 90%未満	60%以上 75%未満	60%未満
	進捗状況	大きく前進	順調	概ね順調	やや遅延	遅延
	評価	令和11年度の最終目標値に対する実績値の到達率で評価				

(4) 基本目標に向けた施策・取組の数値目標

➡ライフステージ共通・各ライフステージの施策等に基づく成果指標

評価基準	到達率	100%以上	90%以上 100%未満	75%以上 90%未満	60%以上 75%未満	60%未満
	進捗状況	大きく前進	順調	概ね順調	やや遅延	遅延
	評価	・令和11年度の最終目標値に対する実績値の到達率で評価 ・目標値が累計値の場合のみ、令和7年度の目標値に対する実績値の到達率で評価。				

2. 結果一覧

(1) 幼児期の教育・保育の量の見込み及び確保方策の指標

A評価	B評価	C評価	合計
0	2	1	3

(2) 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策の指標

A評価	B評価	C評価	D評価	合計
11	5	1	0	17

(3) こども・若者の視点に立った数値目標

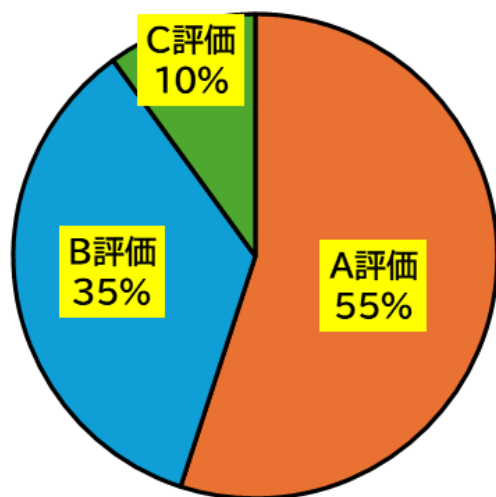
大きく前進	順調	概ね順調	やや遅延	遅延	合計
0	3	2	0	0	5

(4) 基本目標に向けた施策・取組の数値目標

大きく前進	順調	概ね順調	やや遅延	遅延	合計
18	28	1	2	1	50

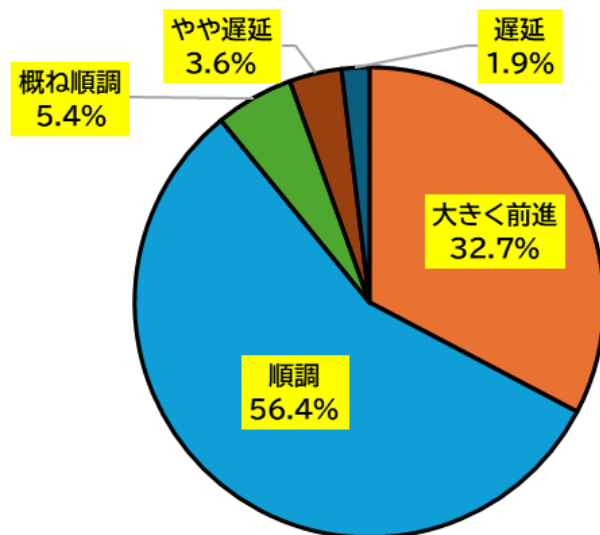
4. 全体評価

【(1) (2) の全体評価】



➡ 「A評価」「B評価」が全体の90%を占める結果となり、需要量に対して概ね供給量を確保できた。

【(3) (4) の全体評価】



➡ 「大きく前進」「順調」「概ね順調」の割合が90%以上であることから、目標値に対して順調に推移していることが分かる。

4 実績評価及び進捗状況

(1) 幼児期の教育・保育の量の見込み及び確保方策の指標

区分		こども計画 R7計画値※		R7確保実績値※			R7利用実績値※ (R8.3.1時点)		
		量の見込み (需要量) ①	確保方策 (供給量) ②	確保方策 (供給量) ③	計画と の差④ (③-②)	需要量と の差⑤ (③-①)	利用 児童数 ⑥	空き待ち 児童数 ⑦	⑧ (⑥+⑦)
1号認定 2号認定	1号認定 満3歳以上で教育を 希望するこども	1,255	1,405	1,345	-60	90	1,377	0	1,377
	2号認定 満3歳以上で保育を 希望するこども	2,888	2,798	2,770	-28	-118	2,876	0	2,876
	小計	4,143	4,203	4,115	-88	-28	4,253	0	4,253
3号認定	0歳児で保育を必要 とすること	862	689	674	-15	-188	807	18	825
	1、2歳児で保育を必要 とすること	1,979	2,065	2,043	-22	64	2,261	3	2,264
	小計	2,841	2,754	2,717	-37	-124	3,068	21	3,089
合計		6,984	6,957	6,832	-125	-152	7,321	21	7,342
			a	b					c

※用語解説※

計画値 (量の見込み・需要量)	人口推計等を基に、将来、保育所や認定こども園等の利用が見込まれるニーズを推計した量
計画値 (確保方策・供給量)	推計した需要量に対応するため、市が確保を計画している保育所や認定こども園等の利用定員(受入枠)の量
確保実績値 (確保方策・供給量)	計画した供給量に対し、保育所等の施設整備等により、実際に確保した利用定員(受入枠)の量
利用実績値	確保した利用定員のうち、実際に保育所や認定こども園等を利用した児童数の量(空き待ち児童数含む)。

【実績評価】

区分	確保方策及び実績値	評価
1号認定	計画値 a 1,405 人 > 確保実績値 b 1,345 人 < 利用実績値 c 1,377 人	B
2号認定	計画値 a 2,798 人 > 確保実績値 b 2,770 人 < 利用実績値 c 2,876 人	B
3号認定	計画値 a 2,754 人 > 確保実績値 b 2,717 人 < 利用実績値 c 3,089 人	C

(2) 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策の指標

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R7 年度)	確保方策 (R7 年度)	需要量 (R7 年度)	確保実績 (R7 年度)	評価
1	利用者支援に関する事業(利用者支援事業)	こども又は保護者の身近な場所で、教育・保育・保健その他子育て支援の情報提供や、必要に応じ相談・助言、関係機関との連絡調整を行う事業	2 か所	2 か所	2 か所	2 か所	A
2	時間外保育事業(延長保育事業)	保育認定を受けた児童が、通常の利用時間帯以外の時間に、保育所、認定こども園等で引き続き保育を実施する事業	37,800 人	37,800 人 45 か所	29,555 人 40 か所	29,555 人 40 か所	B
3	放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)	保護者が就労等で昼間家庭にいない就学児童に、授業終了後等適切な遊びと生活の場を与え、児童の健全育成を図る事業	2,762 人	2,649 人 78 か所	2,761 人 79 か所	2,732 人 79 か所	C
4	子育て短期支援事業(ショートステイ)	保護者の疾病等により家庭で未就学児を養育することが一時的に困難になった場合等に、一定期間養育・保護を行う事業	156 人日	1,105 人日	423 人日	2,876 人日	A
5	乳児家庭全戸訪問事業	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、育児相談・子育て支援情報の提供、養育環境の把握、必要なサービスの検討、連絡調整等を行う事業	1,167 人	母子保健推進員、母子訪問指導員、こども家庭課職員計 75 名	全ての対象者・申請者に対して、サービスを提供する事業であるため、 <u>需要量設定なし</u>	926 人 ※利用実績値	A
6	養育支援訪問事業	保護者の養育に対する支援が特に必要と認められる家庭を訪問し、育児不安の解消や養育環境の改善等を行うための支援等を行う事業	46 件	要保護児童対策地域協議会を中心に、個別対応等で実施。	全ての対象者・申請者に対して、サービスを提供する事業であるため、 <u>需要量設定なし</u>	119 件 ※利用実績値	A

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R7 年度)	確保方策 (R7 年度)	需要量 (R7 年度)	確保実績 (R7 年度)	評価
7	地域子育て支援拠点事業	主に保育所等に通っていない乳幼児とその親子を対象に、相互交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報提供等を行う事業	91,616 人回	91,616 人回 5 か所	91,584 人回 5 か所	91,584 人回 5 か所	B
8 1	一時預かり事業（幼稚園型）	幼稚園等に在籍する満3歳以上の幼児を対象に、教育時間の前後又は長期休業日等に、通園する園で一時的に保育を実施する事業	187,016 人日	187,016 人日	218,353 人日	218,353 人日	A
8 2	一時預かり事業（幼稚園型を除く）	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、保育所、幼稚園、認定こども園やその他の場所において、一時的に預かる事業（No.8-1 の対象児を除く）	6,822 人日	5,692 人日	4,225 人日	4,225 人日	B
	子育て援助活動支援事業（病児・緊急対応型事業を除く）	児童の預かり等の援助を受けたい者と、援助を行いたい者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業		1,877 人日	1,281 人日	1,281 人日	B
	子育て短期支援事業（トワイライトステイ）	保護者の疾病等により家庭で児童を養育することが一時的に困難となった場合等に、一定期間養育・保護を行う事業		20 人日	29 人日	718 人日	A

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R7 年度)	確保方策 (R7 年度)	需要量 (R7 年度)	確保実績 (R7 年度)	評価
9	病児保育事業 (病児・病後児 保育事業)	保育を必要とする乳 幼児や保護者の労働 等により保育を受け ることが困難となっ た児童のうち、疾病に かかっている者を保 育所、病院等で保育を 行う事業	1,204 人日	2,160 人日	634 人日	3,875 人日	A
	病児保育事業 (病児・病後児 保育事業) 子育て援助活 動支援事業	児童の預かり等の援助 を受けたい者と援助を 行いたい者との相互援 助活動の内、病児・緊急 対応強化事業分		10 人日	0 人日	0 人日	—
10	子育て援助活動 支援事業 (ファミ リ・サポート・セン ター事業)(就学児の 預かりのみ)	子育てに関して援助を 受けたい利用会員の依 頼により、援助会員が 支援する相互援助活動 (就学児の預かり)	1,254 人日	1,254 人日	308 人日	308 人日	B
11	妊婦に対する 健康診査を実 施する事業(妊 婦健診)	妊婦の健康管理の充 実及び経済的負担の 軽減を図り、安心して 妊娠・出産ができる体 制を確保するための 事業	1,123 人	宮崎県内の 産婦人科等 で実施	全ての対象者・ 申請者に対し て、サービスを 提供する事業で あるため、 <u>需要 量設定なし</u>	1,164 人 ※利用実績	A
12	実費徴収に係 る補足給付を 行う事業	保護者の世帯所得の状 況等を勘案して、特定 教育・保育施設等に対 して保護者が支払う べき日用品、文房具そ の他の教育・保育に必 要な物品の購入に要す る費用又は行事への参 加に要する費用等を助 成する事業	国の実施要綱等に準じて、事業実施 ※量の見込み等設定なしのため、 <u>評価なし</u>				
13	多様な事業者 の 参入促進・ 能力活用事業	多様な事業者の新規参 入を支援する他、特別 な支援が必要な子ども を受け入れる認 定こ ども園に対して、費用 の一部を補助する事業	教育・保育の提供状況及び事業者の動向等を勘案し、 国の実施要綱等に応じて事業実施。 ※量の見込み等設定なしのため、 <u>評価なし</u>				

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R7 年度)	確保方策 (R7 年度)	需要量 (R7 年度)	確保実績 (R7 年度)	評価
14	妊婦等包括相談支援事業	妊娠・出産・乳児期における伴奏型の相談支援と、経済的支援を一体的に実施することで、様々なニーズに即した必要な支援につなぎ、妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てできる環境を整備する事業	3,369 件	3,369 件	3,738 件	3,738 件	A
15	乳児等通園支援事業	保育所などに通っていない0～2歳の子どもを対象として、月一定時間までの利用可能枠の中で、通園による遊びや生活の場を提供する事業	令和8年度から事業開始 ※令和8年度以降、地域子ども・子育て支援事業から外れ、法律に基づく新たな給付制度として実施予定。				
16	産後ケア事業	退院直後の心身の不調や育児不安がある等の母子に対して、心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を行う事業	564 人日	564 人日	993 人日	993 人日	A
17	子育て世帯訪問支援事業	家事・子育て等に対して不安や負担を抱える家庭の居宅を、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施する事業	20 人日	20 人日	54 人日	54 人日	A

No.	事業名	事業概要	量の見込み (R7 年度)	確保方策 (R7 年度)	需要量 (R7 年度)	確保実績 (R7 年度)	評価
18	児童育成支援 拠点事業	養育環境等に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童等に対して、居場所となる場 を開設し、児童とその家庭が抱える多様な課題に応じて、生活習慣の形成や学習のサポート 等を行うとともに、児童及び家庭の状況をアセスメントし、関係機関へのつなぎを行う等の 支援を行う事業	国の指針をもとに、事業の実施について検討中				
19	親子関係形成 支援事業	子育てに悩みや不安を抱えている保護者及びその児童に対し、講義やグループワーク、ロー ルプレイ等を通じて、児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言を実施 するとともに、同じ悩みや不安を抱える保護者同士が悩みや不安を相談・共有し、情報の交 換ができる場を設けるなど、親子間の適切な関係性の構築を図ることを目的とした事業	国の指針をもとに、事業の実施について検討中				

※需要量（実際のニーズ量）を設定していない指標は、評価対象外のため「－」とする。

※需要量及び確保方策を設定していない指標は、対象者全員にサービスを提供する事業であり、適切に提供できていることから、「A評価」とする。

(3) こども・若者の視点に立った数値目標

指標	基準値 (R6 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗 状況	最終目標値 (R11 年度)
「今、幸せである」と思うこども・若者の割合	79.1%	85.5%	順調	89.1%
「自分のことが好きだ」と思うこども・若者の割合	54.4%	63.9%	順調	64.4%
「誰とでも友達になれる（自分には社交性がある）」と思うこども・若者の割合	67.7%	62.2%	概ね 順調	77.7%
自分には「自分らしさがある」と思うこども・若者の割合	71.0%	76.0%	順調	81.0%
「自分が大人になった時に幸せになっている（自分の将来に明るい希望を持っている）」と思うこども・若者の割合	73.5%	73.8%	概ね 順調	83.5%

(4) 基本目標に向けた施策・取組の数値目標

■ライフステージ共通施策

基本目標1 こども・若者の健やかな成長

1. こどもの権利の保障と意見聴取の取組

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
こども・若者の意見聴取の機会	1 回	3 回	大きく前進	1 回

2. こども・若者の居場所づくり

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
放課後児童クラブ開設数	75 か所	79 か所	大きく前進	85 か所 ※R7 年度目標値 78 か所
放課後子ども教室開設数	9 教室	9 教室	順調	18 教室 ※R7 年度目標値 9 教室

3. 総合的な相談体制の充実

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
困りごと・悩みを相談できる人がいる割合（小学生・中学生・高校生以上）	小学生（3・4 年） 69.9%	小学生（3・4 年） 92.3%	小学生（3・4 年） 大きく前進	各年代 90.0%以上
	小学生（5・6 年） 77.9%	小学生（5・6 年） 91.0%	小学生（5・6 年） 大きく前進	
	中学生 84.6%	中学生 86.6%	中学生 順調	
	高校生以上 90.0%	高校生以上 84.8%	高校生 順調	

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
ゲートキーパー養成講座の実施回数	6 回	7 回	順調	7 回

基本目標 2 困難な環境にあるこども・若者への支援

1. こども・若者の貧困問題への取組

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
生活保護世帯のこどもの高等学校等進学率	88.8%	91.6%	大きく前進	90.0%
「子どもの生活・学習支援事業」の実施地区	15 地区	15 地区	順調	15 地区

2. 障がいのあるこども・若者やその家庭への支援

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
都城市こども発達センターにおける診察数（初診）	146 件	153 件	大きく前進	146 件
看護師配置が必要な医療的ケア児への看護師配置割合（小中学校）	100%	100%	順調	100%

3. いじめ、不登校、ひきこもり、ヤングケアラーに関するこども・若者への支援

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
スクールソーシャルワーカーの配置人数	県：2 人 市：1 人	県：4 人 市：1 人	順調	市：3 人
スクールカウンセラーの配置（小学校）	県：中学校配置のスクールカウンセラーを要請により小学校へ派遣	県派遣のスクールカウンセラーを全小学校に配置	順調	全小学校に配置
スクールカウンセラーの配置（中学校）	県：14 校に配置 残りの 5 校は要請に応じて派遣	県派遣のスクールカウンセラーを全中学校に配置	順調	全中学校に配置

※「スクールソーシャルワーカーの配置人数」については、県からの配置があったため、最終目標値を超える人数を確保することができたことから、進捗状況は「順調」とする。

4. 児童虐待防止対策の推進

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
乳児家庭全戸訪問事業の実施率	87.6%	87.8%	順調	92%

基本目標3 地域におけるこども・若者、子育て家庭への支援

1. こども・若者の安全確保とトラブルの防止

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
避難訓練や防災研修を地域や専門家と連携して実施している学校の割合	93%	95%	順調	100%

3. 「地域共生社会の実現」に向けた取組

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
ファミリー・サポート・センターの援助会員数	281 人	442 人	大きく前進	620 人 ※R7 年度目標値 <u>440 人</u>
「都城市は子育てしやすい、または子育てにやさしいまちだと思いますか」という質問に「そう思う」「まあそう思う」と回答する人の割合	62.7%	82.1%	順調	86.7%
多文化共生社会の実現に向けた取組件数（国際理解講座・外国人支援等）	208 件	206 件	やや遅延	308 件

■ライフステージごとの施策

基本目標4 こどもの誕生前から幼児期の支援

1. 妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目のない保健・医療の確保

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
MRワクチン（2期）接種率	92.6%	94.9%	順調	95%
保育所・幼稚園等むし歯予防（フッ化物洗口）実施施設数	対象施設の 25.9% 22 施設	対象施設の 25.3% 22 施設	順調	対象施設の 28% 24 施設
乳幼児健診の受診率 （乳児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診）	乳児 88.6% 1歳6か月児 94.6% 3歳児 84.2%	乳児 89.3% 1歳6か月児 97.0% 3歳児 95.3%	乳児 順調 1歳6か月児 大きく前進 3歳児 大きく前進	乳児 95% 1歳6か月児 96% 3歳児 94%
周産期医療体制の堅持（都城医療センターの大学派遣医師確保）	必要医療スタッフの確保 100%	必要医療スタッフの確保 100%	順調	必要医療スタッフの確保 100%
夜間急病センターの診療科目・時間の維持	3科、12時間 100%	3科、12時間 100%	順調	3科、12時間 100%

2. 妊娠・出産・子育て環境の整備

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
離乳食教室の参加者数	80 人	199 人	順調	200 人
ファミリー・サポート・センター活動 件数	6,467 件	15,728 件	大きく前進	25,480 件 ※R7 年度目標値 <u>15,530 件</u>

3. 保育環境の充実

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
一時預かりの実施施設数	34 か所	34 か所	概ね順調	40 か所

基本目標5 学童期・思春期の支援

1. 学校教育の充実と環境整備

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
コミュニティ・スクールの実施学校数	100%	100%	順調	100%
各中学校区へのコアティーチャー（学力 向上の核となる教員）の配置の割合	100%	100%	順調	100%
外国語指導助手（ALT）配置人員数	25 人	29 人	順調	31 人
図書館サポーターの配置学校数割合	94.4%	100%	順調	100%
児童生徒の ICT 活用を指導する能力	84.5%	84.0%	順調	100%
小中学校民族芸能伝承活動事業実施学 校数	20 校	19 校	順調	20 校
みやこんじょ部活動応援プロジェクト を実施した部活動数	—	6 競技	遅延	17 競技
放課後児童クラブ開設数（再掲）	75 か所	79 か所	順調	85 か所
放課後子ども教室開設数（再掲）	9 教室	9 教室	順調	18 教室 ※R7 年度目標値 <u>9 教室</u>

2. 不登校のこどもへの支援

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
スクールソーシャルワーカーの配置人数（再掲）	県：2 人 市：1 人	県：4 人 市：1 人	順調	市：3 人
スクールカウンセラーの配置（小学校）（再掲）	県：中学校配置のスクールカウンセラーを要請により小学校へ派遣	県派遣のスクールカウンセラーを全小学校に配置	順調	全小学校に配置
スクールカウンセラーの配置（中学校）（再掲）	県：14 校に配置 残りの 5 校は要請に応じて派遣	県派遣のスクールカウンセラーを全中学校に配置	順調	308 件

3. 思春期の心身の健康と保健対策の充実

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
小学校フッ化物洗口事業の実施校数	36 校	35 校	順調	36 校
栄養教諭・栄養職員を活用した食育に関する取組を行った学校数の割合	18 校 (33.3%)	38 校 (70.3%)	順調	54 校 (100%) ※R7 年度目標値 <u>40 校</u> <u>(74%)</u>

基本目標 6 青年期の支援 ※1. 高等教育の修学支援と充実については、成果指標なし

2. 若者の経済的自立と就労支援

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
新規立地企業件数	71 件 (R2～R5)	15 件	大きく前進	60 件 (R8～R11) ※R7 年度目標値 <u>10 件</u>
キャリア教育の実施学校数（延べ）	11 校	33 校	大きく前進	70 校 ※R7 年度目標値 <u>30 校</u>
都城公共職業安定所管内の新卒高校生の所管内就職率	48.3%	48.3% (R8.3 月末時点)	大きく前進	46.8%

3. 結婚、妊娠、出産等を希望する若者への支援

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
各種団体と連携した婚活・若者交流促進イベントでのカップル成立数（累計）	213 組	119 組	やや遅延	900 組 ※R7 年度目標値 180 組
婚活情報発信システムへの登録者数(累計)	1,247 人	2,253 人	大きく前進	3,200 人 ※R7 年度目標値 2,073 人
婚活応援企業等への登録企業数（累計）	50 社	54 社	順調	80 社 ※R7 年度目標値 60 社

4. 悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談支援

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
ひきこもり支援に関する支援プラン(多機関・アウトリーチ・参加支援)の作成数	3 件	7 件	大きく前進	30 件 ※R7 年度目標値 6 件

基本目標 7 子育て期の支援

1. 相談体制・情報提供の充実

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
「都城市は子育てしやすい、または子育てに やさしいまちだと思いますか」という質問に「そう思う」「まあそう思う」と回答する人の割合（再掲）	62.7%	82.1%	順調	86.7%
母子訪問指導実施率	87.6%	91.5%	大きく前進	90%

2. 子育てや教育に関する経済的負担の軽減

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
出生数	1,100 人	1,146 人	順調	1,193 人

3. 共働き・子育ての推進と男性の家事・子育てへの主体的な参画促進

成果指標	基準値 (R5 年度)	実績値 (R7 年度)	進捗状況	最終目標値 (R11 年度)
子育てサポート企業「くる みん認定企業」 数	8 社 (H27～R5)	7 社 (R4～R7) ※参考：累計 11 社	大きく前進	5 社 (R8～R11) ※参考：累計 16 社
男女共同参画に関する講 演会・講座の開催数	8 件	19 件	大きく前進	10 件

5 「C評価」「やや遅延」「遅延」項目一覧

区分	指標及び数値目標	評価等	原因	今後の対策
(1)	3号認定	C評価	空き待ち児童がおり、需要量に対して、弾力運用を行ってもなお供給量を確保できなかった。	施設整備や保育士確保等の施策により、十分な供給を確保していく。
(2)	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	C評価	定員以上の弾力的受入れを行っているが、校区によって受け皿が不足している。	既存のクラブへ定員拡充を依頼するとともに、児童数の推移等を基に新たなクラブ整備を検討する。
(4)	多文化共生社会の実現に向けた取組件数	やや遅延	内訳としては、約 120 件：日本語教育支援、80 件：国際理解講座であり国際理解講座は R5 年度より実施回数が増加している。徐々に講座の回数や質は向上しているが、最終目標値には届いていない。	地域との交流、生活に関するオリエンテーション等、日本語教育や国際理解講座以外の支援の充実を図る。
(4)	みやこんじょ部活動応援プロジェクトを実施した部活動数	遅延	当初、学校部活動の全競技を対象に実技研修会を実施する予定であったが、すでに各競技団体で研修会等を実施しており、新たな研修会の実施は指導者の負担になること等から、R6 年度にスポーツ政策課・スポーツ協会と協議し、「みやこんじょジュニアトップアスリート事業」と連携することとなった。	段階的に学校教育課から案内する競技を増やす。
(4)	各種団体と連携した婚活・若者交流促進イベントでのカップル成立数（累計）	やや遅延	婚活イベントの委託事業において、イベント企画提案の減少により、開催されるイベントが減少したことによるもの。	多種多様なイベントを開催し、参加者の増、マッチングの増を図る。